

# 平成28年度 燕市西蒲原郡総合部 活動報告

部長 澁木保之

## 1 研究主題

「人、もの、自然と関わり、学びを深める  
総合の授業づくり」



## 2 研究の概要

### (1) 講演会 (第1回部会)

- ① 日時・会場 平成28年6月1日(水) 15:15～16:45 燕市立栗生津小学校
- ② 講師 新潟大学教育学部附属長岡小学校 教諭 鎌田 和則 様
- ③ 演題 「今求められる総合の授業づくりのポイント」
- ④ 内容

最初に、総合にかかわる今後の教育の重点について次のように解説があった。  
これからの子どもたちには、汎用的能力の育成が必要である。総合の時間は、汎用的能力の育成に適している。総合の学びでは、「①体験的活動と言語活動の充実、②協同的な学習の推進、③探求的な学習の積み上げ」が重要である。

その後、実践例を通して授業づくりのポイントを次のように示していただいた。

ア 誰のために何のために追究するのか、追究のねらいを明確にする。

イ 単元の中に学ぶべき価値をもたせ、核となる内容を繰り返し追究させる。

ウ 協同的・追究的な学習で学習活動を振り返らせ、その価値を確認させる。

### (2) 授業研究 (第2回部会)

- ① 日時・会場 平成28年11月30日(水) 14:00～16:45 燕市立吉田北小学校
- ② 授業者 燕市立吉田北小学校 荒井 盛男 教諭
- ③ 指導者 新潟大学教育学部附属長岡小学校  
教諭 田中 辰弥 様



#### ④ 内容

ア 授業の概要

「燕からはばたけ～考えよう自分の未来～(第6学年)」

本時「お客さんを笑顔にする会社の事業計画を練ろう」の課題に対して、自分たちで会社の事業計画をつくり、互いに検討する場をもった。最初は自分たちの作りたい会社という思いが主であった。教師の「それでお客さんは喜ぶかな。」という働きかけから、各グループの事業計画を見直す話し合いが中心となる展開であった。

イ 協議とご指導の概要

協議会では、「教師が検討する視点をもたせたので、グループでの話し合いが進んだ。」「しかし、自分の作りたい会社にこだわったり、見直しの考えが広がったりしてまとまらなかったの、絞り込むための工夫が必要である。」との意見が多かった。

次のようなご指導があった。「自分たちが考えた会社を創設する第4次指導計画を新設してあり、地域の課題解決につながる単元構成である。第4次の学習内容は汎用的能力の育成につながる価値ある協同的な学習活動を含み、今後も継続することが大切である。本時の授業は、全員が参加できる学習の場を会社の創設というねらいで設定されている。「何をどのように振り返らせるか」を明確にし授業をまとめさせたい。

## 3 成果と課題

総合部では、子どもたちが目を輝かせて課題追究・発表する姿を願い、「価値ある課題設定と追究の手立ての工夫」を重点として研修を続けている。講演会と研究授業を通して「地域の特質をふまえた単元の構成、単元全体にわたる追究の柱となる活動の設定」など、総合の授業のポイントを学ぶことができた。

次年度も、子どもたちの汎用的能力を高めるため、「価値ある課題設定と追究の手立ての工夫」を柱として研修を続ける。